

本計画書を参考に各隊で詳細計画を立案して下さい。
必要ならば 1/25000 の地形図をご用意下さい。

「史跡探訪ハイク」 計画書

実施日時

平成17年8月8日(月)、9日(火)、10日(水)

吉川野営場出発時間は、午前9時からとし詳細は参加各隊に一任する。

八名温泉北バス停集合 午後3時20分

出発 午後3時40分

吉川野営場バス停到着 午後4時15分

実施場所

新城市富岡付近(午後12時より順次八名温泉で入浴)

目的

愛知連盟吉川野営場(新城市富岡)付近の史跡を訪問、調査して新城と吉川野営場への親近感と思い出を作る。

目標

- 1) 夜泣石古墳、魔詞戸古墳、望月家の史跡を訪問、調査する。
- 2) 自身の健康に注意し史跡探訪ハイクを完歩する。
- 3) 八名温泉で入浴をする。
- 4) 進級科目、ターゲットバッジを習得する。
進級科目 ハイキング 1 - 1、1 - 4、1 - 5
ターゲットバッジ A5、C1

受入人数

8日:208名、9日:208名、10日:54名

復路の交通

復路は、八名温泉北方にバス停を設置してバスを運行する。

参考コース、距離、時間

- 1) 吉川野営場～中宇利～富岡～夜泣石古墳～富岡～黒田～望月家～魔詞戸神社 R301～八名温泉
18.46km 2時間48分
- 2) 吉川野営場～中宇利～富岡～夜泣石古墳～富岡～黒田～魔詞戸神社 R301～バス停～八名温泉
16.35km 2時間23分
- 3) 吉川野営場～中宇利～富岡～夜泣石古墳～富岡～黒田～望月家～八名温泉
15.50km 2時間10分
- 4) 吉川野営場～中宇利～富岡～黒田～望月家～魔詞戸神社 R301～八名温泉
14.42km 1時間58分

服装、持ち物

ハイクに適した服装、入浴用品(石けん、シャンプー等)、入浴後の着替え、帽子、雨具、筆記具、新聞紙、個人救急品、タオル、ハンカチ、ティッシュ、昼食、お茶、行動食、健康管理カード(健康保険証のコピー)、緊急連絡用のお金、その他ハイクに必要とされる物。

GHQが用意する物

復路のバス、温泉入浴券

安全対策

参加各班に指導者を同行させる。

史跡の立ち入り禁止区域、洞窟の中には絶対に入らない。

暑さ(熱中症等)に注意し水分を取る、交通安全対策を各参加隊で十分検討する。

注意事項

緊急連絡先の(隊長携帯電話、SHQ携帯電話、吉川野営場)指示をする。

史跡等の保護に十分注意し、環境保護に努める。

入浴時のマナーをしっかり守る。(一般の人が入浴をしています。スカウトらしい行動)

選択プロ 史跡探訪ハイク

夜泣石古墳



古墳時代後期のもので、大原古墳群の中の一つ。墳頂には、夜泣石伝説の石がまつてある。今でも子供が夜泣きして困るときは、この石に願をかける
と泣かなくなると言われている。

摩訶戸(まかご)古墳群



摩訶戸神社の北周辺に、合計 15 基の古墳が分布し、1 号墳は神社左手の林を抜けた場所にあり墳丘、石室ともに郡中最大です。径12mの腰高の円墳で玄室長2m、高さ1.7mの横穴式石室は入り口は狭いですが、内部は丁寧に石を積み上げた玄室が完存しています。

望月家住宅



豊川流域と天竜川流域に分布する全国的にも珍しい分棟型民家で、この地方では「釜屋建民家」と呼ばれ、国の重要文化財に指定されている。建築年代は、18 世紀末頃の建物と推定されている。



選択プロ 史跡探訪ハイク案内図 (参考距離と参考時間)



吉川野営場～中宇利	距離	4.00km	徒歩	50分	自動車	6分
中宇利～富岡	距離	2.46km	徒歩	31分	自動車	3分
富岡～夜泣石古墳	距離	2.02km	徒歩	25分	自動車	3分
富岡～黒田	距離	1.22km	徒歩	15分	自動車	1分
黒田～諏訪神社西	距離	1.18km	徒歩	14分	自動車	1分
黒田～八名温泉西	距離	0.73km	徒歩	9分	自動車	1分
諏訪神社西～望月家	距離	0.45km	徒歩	5分	自動車	1分
八名温泉 R301～魔訶戸神社	距離	1.75km	徒歩	22分	自動車	2分
八名温泉～バス停	距離	0.45km	徒歩	5分	自動車	1分
望月家～バス停	距離	1.66km	徒歩	20分	自動車	2分
魔訶戸神社～バス停	距離	1.70km	徒歩	21分	自動車	2分